

東日本税理士法人に

11/12/9 業
建設

石巻市

市立病院移転改築基本構想

宮城県石巻市は、東日本大震災の大津波で被害を受けた市立病院の移転改築に向け、整備基本構想を東日本税理士法人(東京都、長隆所長)に

近く発注する方針を固めた。病院建設の設計実績を持つ複数のコンサルタントを対象に見積もり合

同病院は12年1月にも学識者ら十数人でつくる検討委員会を立ち上げ、施設規模や機能を話し合

3月の本震に伴う大津波で既存施設の1階部分が流され、医療機器や動力設備などが壊滅した。市は7月、被害が大きい1階を改修し現在地で診療を再開する方針を決めたが、移転改築にも国の補助金を活用できることとなり、方針を改めた。

所在地は南浜町1の7の20。現施設の規模は4階一部5階建て延べ1万3117平方メートル。設計は伊藤喜三郎建築研究所が手がけた。病床数は20

6。移転後も同程度の規模を確保する。市は震災後、施設復旧にかかる見積もりを同者に委託していた。

同病院は震災の大津波で1階を流されたが、入院患者ら100人余りは全員無事だった。震災後は市教育委員会旧庁舎の敷地内に設けた仮設診療所で診療を続けた。